

*** 東京天文台 75 周年誌に貼られた記念切手と初日スタンプ**

アーカイブ室新聞 305 号 (2010 年 3 月 31 日発行) で「国立天文台 (東京天文台、緯度観測所) などが登場する記念切手などの収集」という記事を書いた。この記事を読んだ方から関係する切手類が届き始めていた。たびたび登場するがこの 3 月に国立天文台を定年退職した M 女史が、職場を片付けている際、珍しいものを見つけたと見せてくれた。それは東京天文台 75 周年誌 (写真 1) であった。別に珍しいものではない、筆者の手元にもあるし、図書室にもある。しかし、その記念誌の最後のページに東京天文台 75 年記念切手が貼ってあり、武蔵野局の初日スタンプが押されていたのである (写真 2)。

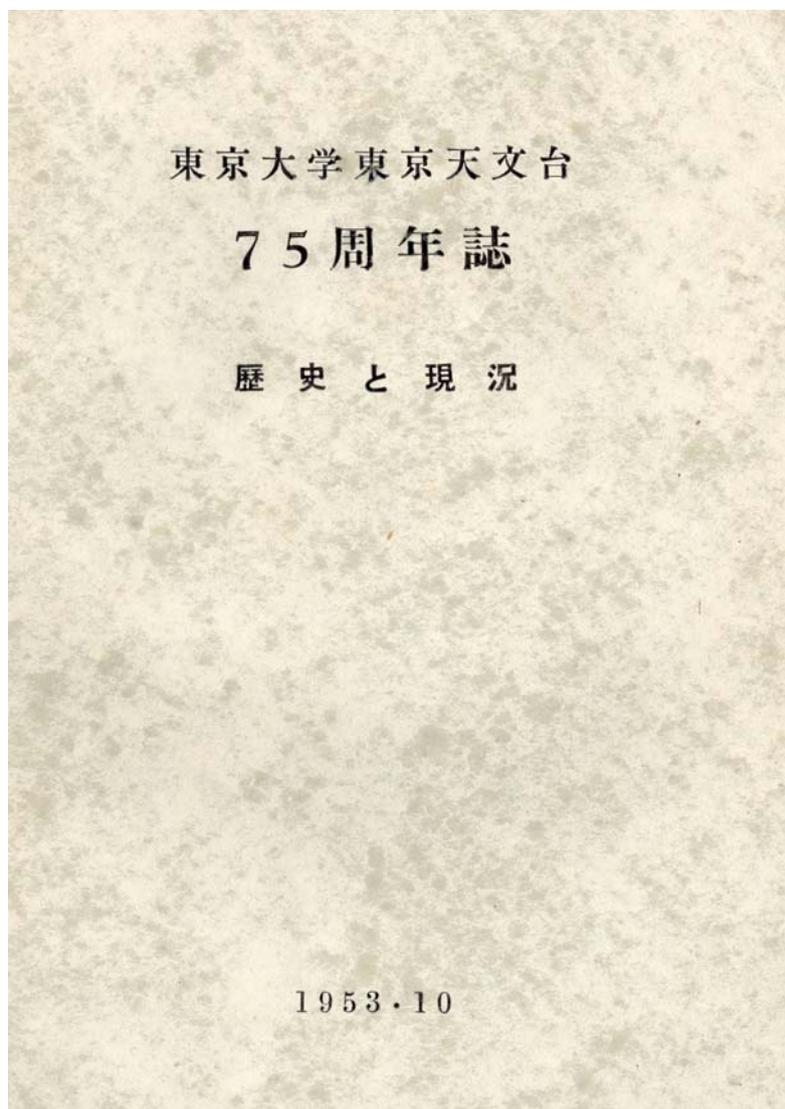


写真1 東京天文台 75 年の記念誌

東京大学東京天文台は、明治 11 年(1878 年)東京大学観象台として発足した時点を開始点としており、昭和 28 年(1953 年)10 月 29 日に 75 周年記念式典を、そして昭和 53 年(1978 年)に 100 周年記念式典を行った。東京大学東京天文台は、発展的に改組が行われ国立天文台と名前を変え、132 年を迎えている。



写真 2 記念切手と初日スタンプ

この記念切手が貼られたページには、見学記念のスタンプも押されている（写真 3）。



写真 3 東京天文台見学記念スタンプ

このような気の利いたデザインの見学記念スタンプがあればいいと思う。

東京天文台 75 周年記念日の記念写真（写真 4）があり、この写真について、最後の東京天文台長、初代国立天文台長であった古在先生から「記念写真の萩原台長と並んでいる、中野、竹田、辻、村上、二日市、加藤（平）、壇上、野付、宮地の各氏は、皆勤続 25 年で表彰された人」というご連絡をいただいた。筆者はある事情から、この写真を萩原先生の文化勲章受章の天文台での祝賀会記念写真と考えたこともあったが、萩原先生の文化勲章のお祝いは、その次の年の冬で、学士会館であったと古在先生から教えられた。



写真 4 東京天文台 75 周年の記念写真

この東京天文台 75 周年記念式典を行った昭和 28 年（1953 年）10 月 29 日から、東京天文台記念日は毎年 10 月 29 日とされ、25 年の永年勤続表彰、その他レクリエーション行事（運動会、生け花、絵、写真展など）が行われ全台的に楽しい 1 日を過ごしたことがなつかしい。今、そういった記念日を職員皆で楽しむことが無くなったのはさびしいことである。